

- ◎愛 情：読み手と絆を深める
- ◎情 操：絵本が好きになり、豊かな人間性を育む
- ◎知 育：「想像力」「集中力」が育ち、読み書きへの関心が高まる

乳児のねらいは『保育者との絆を育むこと』が最初です。安心した関係の中で、絵本を楽しむ。絵本の中のことに興味をもつ。身近なもの名前を覚えていく。絵本を心待ちにするというステップを踏んでいきます。感性は感じるものであり、教えて覚えるものではありません。保育者はゆったり与え続け、相手を感じるのを待ちましょう。



年齢別の目標

* 乳児 (0～2歳)

- 1期：絵と読み手の語り掛けに興味を覚え、絵本に関心を持つ。
- 2期：絵本を楽しむ好奇心が芽生える。
- 3期：絵と現実が体験を通して、少しずつ一致する。
- 4期：イメージが膨らみ、次のページに現れることを期待して見るようになる。

* 幼児 (3～6歳)

- 前期：色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を認識する
- 後期：色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を想像する



オススメ 絵本の一部を紹介します。

★ 読み聞かせ年間指導計画に合わせた絵本 (言葉・色・形)

(乳児から)

★ 『さよならさんかく』

文・絵：
わかやまけん
こぐま社



「さよなら さんかく
またきて しかく
・・・」リズムをつ
けて歌うように読んで
いくと、いろんな形が
たくさん出てくる楽し
いお話です。

(3歳から)

★ 『わにがわになる』

文・絵：
多田 ヒロシ
こぐま社



園の帰り、本物のお月
さまを見て
「おつきさまこんばん
は」！絵本の世界と現
実の世界がつながりま
す。

★ 職員推奨絵本

(乳児向き)

★ 『おつきさまこんばんは』

作：林 明子
福音館書店



各月齢の絵本選びと 読み方のコツ

★ 生後7ヶ月～1歳のお子様の場合

《絵本の選び方》

視力が少しずつ育ってきて、絵に目線がいくようになってきます。また、大きくはっきりした絵に加えて、物の認知も始まっているので、動物や食べ物、乗り物などや靴や帽子などの身につける物が描かれていると、よく見るようになります。1歳頃には物に言葉が対応し始めて言葉の世界を持つようになり、簡単なストーリーのある内容に、動きのある絵が描かれているような絵本に興味を示すようになります。

《読み方のコツ》

読んでいるところをそっと指で押さえ、赤ちゃんの視線を指で押さえられているところに誘っていきましょう。8ヶ月頃になると、自分の方から絵を見るようになり、1歳頃には絵本の中の言葉を聞いて、絵を見て楽しむようになります。また、10ヶ月頃になると、大人の動作や発する言葉を盛んにまねるようになるので、絵本を読んだ後は、絵本の中の楽しそうなことや、印象に残ったものなどをイメージでとらえる遊びを始めましょう。

